文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	珠洲市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化				
3 実施計画の名称	珠洲市文化遺産活用計画		計画の改善時期】 平成 年度				
4 実施計画期間	平成 30 年度	~ 平成 31	年度				

5 実施計画の概要

珠洲市第五次総合計画(平成18年度策定)を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活

用して地域活性化を推進するため、下記の取り組みを実施する。 珠洲市では全国で唯一、揚浜式製塩の技術が継承されており、国無形民俗文化財に指定されている。また平成23 年には「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定され、揚浜式製塩はその主要な構成要素になっている。当市では 揚浜式製塩を観光ならびに産業としても活用し保全育成に努めている。しかし文化遺産を支える様々な周辺技術の 衰退が問題となっており、とりわけ製塩では結桶類の補修・入手について深刻な事態となっている。そこで市内木 工従事者を中心に桶製作技術の習得を促し、地元での周辺技術保全を図る。さらにこの技術習得の成果を活かし、 揚浜塩を筆頭にして桶に関わる郷土物産(日本酒、魚醤、山菜漬など)や民俗芸能(砂取節、酒屋唄)などととも に、情報発信・普及啓発を図り、地域活性化を推進する。

本市では、珠洲まつり特別委員会を組織し、キリコ祭りの観光促進に努めている。しかし高齢化・過疎化が急速 に進行する本市においては、まつりの担い手不足、経費負担能力の低下により、まつり継続に危機感を募らせてい る。本事業では、とくに観光に寄与しているキリコまつりについて、用具の整備を実施ことで、まつり存続の後押 しを行う

6 実施体制

本実施計画に係る全体の業務は、市教育委員会事務局が行う。

観光関連の業務は、市観光交流課が連携して行う。

産業関連の業務は、市産業振興課が連携して行う。

また補助事業は、次の団体が実施する。

珠洲市文化遺產活用実行委員会

構成団体(珠洲市、珠洲商工会議所、株式会社奥能登塩田村、能登半島珠洲の塩協議会、株式会社助政建設、桶 製作技術保存会、珠洲まつり特別委員会、砂取節祭り実行委員会、NPO法人能登すずなり、宝立七夕キリコまつり実 行委員会、宝立七タキリコ太鼓保存会、馬緤キリコ太鼓保存会)

7 実施計画における目標と期待される効果

別紙①のとおり

8 補助事業の概要 (1) 補助金額

~平成**29**年度交付決定額: 7,322 千円 平成30年度申請額: 3,675 千円

(2) 実施事業の概要 別紙②のとおり

9 その他計画実施により想定される効果 (定性的な効果を記載)

後継者養成事業の実施により、桶製作技術習得の足掛かりができるため、事業後も継続して技術者養成が可能に なる。これにより製塩固有の桶製作・補修技術が地元で継承され、製塩技術保全の大きな課題が解消される。また 桶はその他文化財や物産に潜在的な需要があり、将来的に地場産業として商業的にも成り立つことが期待できる。 用具等整備事業の実施により、キリコまつりの太鼓が修繕されることで、勇壮なまつりの雰囲気がより高まり、 参加者の高揚感、観光客等観覧者の感動が増す。これによりまつりを支える地元住民のモチベーションもあがり、 まつりの継続・発信にも好循環が期待される。また、太鼓実演などの普及活動や後継者育成活動における大きな支 障も解消される。

10 その他事業(自主財源、民間団体、他省庁等からの補助(支援)を予定している事業など)

事業概要: ■桶タガの原材料を確保するためのマダケ林整備の取り組み(地元ボランティア、市補助金)

珠洲まつりに対する開催支援(市補助金: 2,000,000円、NPO法人能登すずなり: 50,000円、珠洲 市農業協同組合:50,000円、石川県漁業協同組合すず支所:30,000円、珠洲商工会議所: 事業概要: 200,000円)

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

本事業の実施等により、保存活用を図る機運を醸成し、構想策定への足がかりとしたい。

12 担当部局

地方公共団体 珠洲市教育委員会事務局文化財係 担当部局課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

-													
目標区分1:	伝統文化の継承体制の維持・確立												
評価指標区分1:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)										(N)		
具体的な指標1:	桶製作技術保存会会員数(技術習得者数) 関連事業: ①												
目標値1:	【現状値】 平	严成 29	9 年度	0	人	⇒	【目標個	直】 平月	式 31	年	度	10	人
設定根拠1:	2年間の事業期間で受講受け入れ可能な人数												
進捗状況1:	各年度、状況値、目標に対する達成率												
平成 年度	平成	年度	平成	年度	平成	30	年度	平成	31 4	年度	平成	32	年度
人		人		人			人			人			人
目標区分2:	伝統文化の継承体制の維持・確立												
評価指標区分2:	祭礼行事等の	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)											(y)
具体的な指標2:		宝立七タキリコ太鼓保存会、馬緤キリコ太鼓保存会の 会員数。(現状内訳:宝立10人、馬緤10人) 関連事業 : ②											
目標値2:		严成 29	,	20	人	\Rightarrow	【目標信			年		30	人
設定根拠2:	過疎・少子で の、太鼓・行	高齢化が 笛教室の	ば き き 義 を 周	、地域行り 知し、各[事の担レ 団体にキ	ヽ手が ₃いて	不足し 年に1名	ており、 4程度の	、大幅だ 入会を	な増加 目標!	」は見返 にする	とめない ため。	いもの
進捗状況 2:	各年度、状況値、目標に対する達成率												
平成 年度	平成	年度	平成	年度	平成	30	年度	平成	31 4	年度	平成	32	年度
人		人		人			人			人			人

様式1-1別紙②

8(2) 実施事業の概要 別紙

												.,,,,	755,450
事業①: 桶	U作技術者養 —————	□技術者養成事業				施団体	拖団体 : 珠洲市文化遺産活用実行委員会						
事業区分	: 後継者養	後継者養成						成	30 £	∓度 ~	平成	31	年度
事業概要	: 市内に製	市内に製塩用桶職人を養成するため、県外桶職人を招聘し、技術指導を受ける。											
評価指標区分	: ・保存会	・保存会への新規入会者数 (具体的な指標は次のとおり)											
具体的な指標	: 桶製作技	桶製作技術保存会会員数(技術習得者数)											
目標値	:【現状値】	【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 10 人											
進捗状況	:	各年度、状況値、目標に対する達成率											
平成 年	度 平成	年度	平成	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度
,		人		人			人		人				人
事業②: 珠	州まつり用具	実	実施団体: 珠洲市文化遺産活用実行委員会										
事業区分	: 用具等整	:備			事	業期間	: 平	成	30 £	∓度 ~	平成	30	年度
事業概要	: め、修理	馬緤町のキリコ祭り及び宝立七夕キリコ祭りで使用される太鼓やバチが経年劣化しているため、修理を行う。あわせて、現在小中学生向けに行っている太鼓や笛の教室を継続して行い、 後継者養成に努める。											
評価指標区分	: 保存会	・保存会会員数の変化(維持) (具体的な指標は次のとおり)											
具体的な指標	: 宝立七夕	宝立七タキリコ太鼓保存会ならびに馬緤キリコ太鼓保存会の会員数。											
目標値	:【現状値】	平成 2	29 年度	20	人	⇒	【目標	値】 平	成	31 年	度	30	人
		各年度、状況値、目標に対する達成率											
進捗状況	:			1 1/2									
進捗状況 平成 年		年度	平成	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度
	度平成	年度 人	1		平成	30	年度 人	平成	31	年度	平成	32	年度
平成 年	度平成		1	年度	平成	30		平成	31		平成	32	